

# 第3章

## 地域別構想

### 第1節 釧路西部地域

## 第1節 釧路西部地域

### 地域づくり方針体系図

#### 地域の将来像

豊かな自然環境のもと  
便利に暮らすことができ、旺盛な生産活動を支える地域

#### 地域の特徴

市街化区域の北部では、昭和地区の大型ショッピングセンターをはじめとした店舗や医療福祉施設、公共施設などの生活利便施設が多い

JR大楽毛駅や新大楽毛駅周辺に人口の集積が見られるものの、生活利便施設が少なく、都市機能が集積した他の地域と離れている

沿道から離れた一部の居住地では運行本数の多いバス停が徒歩圏内がない

国道幹線通(国道38号)沿道は、星が浦大通や鳥取大通に店舗や医療施設などの都市機能が立地する利便性の高い居住地

大規模な工場敷地が広がる一方で未利用地が存在

南部は地域内の通勤移動が多く他地域からの移動も集中している

市街化調整区域の阿寒川流域では酪農、市街地周辺では野菜栽培が盛ん

昭和地区や鶴野東地区などの新興住宅地では、年少人口の割合が比較的高い

北海道が示した津波浸水想定が市街化区域全域や市街化調整区域の一部に広がる

#### 主な住民意見

身近にスーパーやコンビニがなく不便／近所に病院(内科)がなく将来に不安／地区会館の活性化

車がなくても生活できるように／鶴見橋の渋滞緩和／バスの便が少ない／高齢ドライバーが多い／住み慣れた地域ですと暮らしたい／移動販売車があると便利

大型店が近くにあり日常生活の不便さはない／最も必要な移動手段は自家用車とする住民の割合が大きい

高速道路や港湾を生かした物流活性化／若年層の流失を食い止める働ける場所づくり

夏の冷涼な気候を生かした食料基地を目指しては

子供が安心して遊べる環境／自転車などアクティビティの充実／恵まれたウォーキング環境／冬に高齢者が運動できる場所がほしい／鳥取10号公園を中心に市民と連携したまちづくりを進めてほしい





住民が参加した防災訓練／津波が来た時の避難場所がなく不安／大津波発生時に車で避難できる環境整備／鶴野地区の水害対策が必要

釧路西部地域の地域づくり方針体系図は、地域の将来像を達成するため、「地域の特徴」や「主な住民意見」を踏まえてまとめた「地域の主な課題」のほか、全体構想で掲げた「まちづくりの基本目標」から導き出された「地域整備目標」について、それぞれ解決や達成するために示す「主な地域整備方針」を表したものです。

### 地域の主な課題

-  拠点における生活利便施設などの適正な配置の誘導
-  拠点周辺での移動利便性の確保に向けた交通環境の維持、充実
-  国道幹線通(国道38号)に立地する多様な沿道サービス施設を生かした地域づくり
-  釧路港、釧路空港に近い地の利を生かした産業の振興
-   農林業の振興と集落における生活環境の維持、保全
-   地域の施設を活用した子育て支援や余暇、レクリエーション活動の促進
-  沿岸部及び低地における災害リスクに対応した流域治水対策や津波対策の向上

### 地域整備目標

-  安心で心地よく暮らせる地域づくり
-  地域住民の居住、日常生活を支える機能の誘導
-  港湾や空港を活用した物流、交流機能の強化と産業集積地の形成
-  機能連絡軸及び南北連絡軸の充実による都市軸の強化

### 主な地域整備方針

- 流域治水対策の促進(新釧路川、仁々志別川、阿寒川)
- 星が浦川の整備(鶴野地区、星が浦北地区)
- 海岸保全による災害の防止
- 避難困難地域の対策を含め、津波高や浸水深に応じた津波対策の検討
- 雄鉄線通をはじめとした幹線道路沿道などにおける住環境の保全と利便性が高まる施設の充実
- 鳥取地区の国道幹線通(国道38号)と仁々志別通の間、大楽毛地区における中高層住宅地としての良好な住環境の形成
- 昭和地区、鶴野東地区における閑静でゆとりある低層住宅地としての良好な住環境の形成と保全
- 山花地区などの農業集落における良好な生活環境の維持保全
- 類いまれな景観を有する釧路湿原の保全、活用
- 鶴野東2号公園及び昭和20号公園並びに昭和東公園の整備
- 釧白工業団地地区、大楽毛地区、星が浦南地区及び西港地区の工業地域における広域的な産業拠点の形成
- 都市計画提案制度など、都市計画制度の柔軟な運用の検討
- 農業生産基盤の計画的な整備と優良な農用地の保全
- 森林の整備、保全
- 北海道横断自動車道 阿寒IC～釧路西IC間、釧路空港IC(仮称)の整備促進
- 釧路新道の4車線化に向けた整備促進
- 釧路港西港区における臨港道路などの港湾施設整備や維持管理
- 道道釧路阿寒自転車道線の適切な維持管理の促進
- 昭和地区と文苑地区をつなぐ橋梁の新設
- 長期未整備の都市計画道路における計画見直しなどの検討

## 1 地域のあらし

釧路西部地域は、北部に阿寒川流域の丘陵地帯や釧路湿原の一部を含み、南部を太平洋に挟まれ、西の白糠町との行政界から東の新釧路川に至る面積16,508haの地域であり、そのうち\*市街化区域は2,203haとなっています。

2020年(令和2年)の地域の人口は46,648人で、本市の総人口の28.26%に相当します。

\*市街化区域は本地域の南部に位置し、釧白工業団地のほか、釧路港西港区の港湾機能を背景に新富士、大楽毛間の臨海地帯で製紙工場や流通業などの工業系の土地利用がされており、本地域を東西に走る国道幹線通(国道38号)の沿道には大型駐車場を備えた郊外型の店舗が、雄鉄線通と釧路環状通、鳥取東通の交点周辺には大型の商業施設などが出店しています。



【国道幹線通沿道の店舗群】

国道幹線通(国道38号)の北部に位置する昭和地区や鶴野東地区、鳥取北地区では、一定の人口集積が保たれています。



提供：釧路開発建設部 釧路港湾事務所

【釧路港背後に広がる工業地帯】

\*市街化調整区域は本地域の北部に位置し、西部は農業が盛んで、阿寒川流域の酪農と市街地周辺の野菜栽培を主として発展してきた地域であり、東部には釧路湿原を擁しています。

道路網については、\*市街化区域を国道幹線通(国道38号)、\*市街化区域の外縁部を釧路新道(国道38号)及び高規格道路が東西に貫いており、西部には、阿寒地域へと至る国道240号が走っています。

本地域には\*釧路市立地適正化計画の地域交流拠点である鳥取大通地区があるほか、生活拠点として大楽毛地区、星が浦大通地区、昭和中央地区があります。

## 2 地域の主な課題

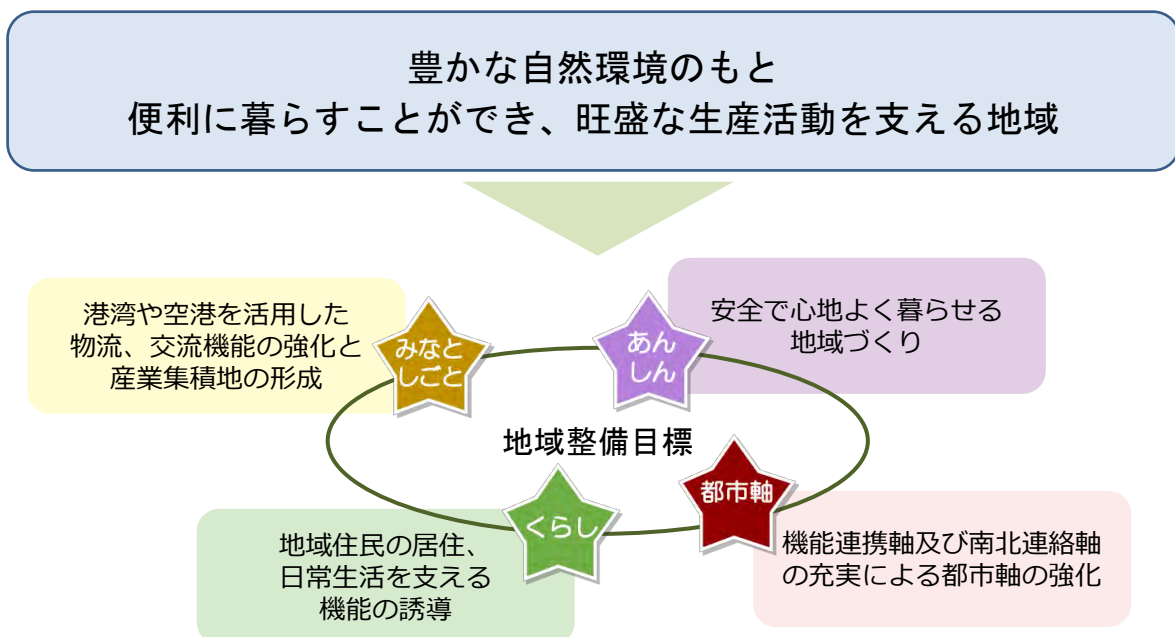
これまでの釧路市都市計画マスタープランや\*釧路市立地適正化計画などから抽出した「地域の特徴」、市民を対象とした各種アンケート調査の結果や地域懇談会、意見募集などを踏まえてまとめた「地域の主な課題」は次のとおりです。

- 拠点における\*生活利便施設などの適正な配置の誘導が必要です。
- 拠点周辺での移動利便性の確保に向けた交通環境の維持、充実が必要です。
- 国道幹線通(国道38号)に立地する多様な沿道サービス施設を生かした地域づくりが求められています。
- 釧路港、釧路空港に近い地の利を生かした産業の振興が求められています。
- 農林業の振興と集落における生活環境の維持、保全が求められています。
- 地域の施設を活用した子育て支援や余暇、レクリエーション活動の促進が求められています。
- 沿岸部及び低地における災害リスクに対応した流域治水対策や津波対策の向上が必要です。

## 3 地域の将来像と地域整備目標

基本的な考え方となる「地域の将来像」を次のとおり定めるとともに、地域の主な課題を踏まえ、全体構想で掲げた「まちづくりの基本目標」を達成するための「地域整備目標」を定めます。

### 地域の将来像



## 4 地域整備方針

前項で示した地域整備目標ごとの「地域整備方針」を示します。



### 安全で心地よく暮らせる地域づくり

(交通体系)

- 新釧路川及び仁々志別川に架かる橋梁において、安全性を高める長寿命化修繕などを進めます。

(都市環境)

- 新釧路川、仁々志別川及び阿寒川においては、治水安全度の向上を図るための流域治水対策を促進するとともに、星が浦川は、整備済みの下流部(北海道管理区間)に引き続き、鶴野地区や星が浦北地区の上流部(釧路市管理区間)の整備を進めます。

(都市防災)

- 低地などにおける大雨時の浸水については、河川整備や下水道整備などによる流域治水対策を進めます。
- 海岸浸食のおそれのある区域は、海岸保全に努め災害の防止を図ります。
- 北海道が示した津波浸水想定が\*市街化区域全域や\*市街化調整区域の一部に広がる地域であることから、避難困難地域の対策を含め、津波高や浸水深に応じた津波対策の検討を進めます。



### 地域住民の居住、日常生活を支える機能の誘導

(土地利用)

- 生活拠点の大楽毛地区、星が浦地区及び昭和地区には、近隣住民の生活利便機能を誘導することとします。また、地域交流拠点の鳥取大通地区には、こうした機能に加え、経済活動や交通及び医療などを支える機能の誘導を図ります。
- 雄鉄線通をはじめとした幹線道路沿道などについては、周辺住宅地の住環境の保全に配慮しつつ、近隣住民の利便性が高まる施設の充実を図ります。

- 鳥取地区の国道幹線通(国道38号)と仁々志別通の間、大楽毛地区については、中高層住宅地として良好な住環境の形成を図ります。

- 昭和地区、鶴野東地区については、閑静でゆとりある低層住宅地として良好な住環境の形成とその保全を図ります。



【昭和地区】

- 工業や港の緑地帯を生かした憩いの場の整備など、住宅地と調和した工業地域の形成を図ります。

- 山花地区などの農業集落については、周辺環境に配慮しながら地域の実情にあった良好な生活環境の維持保全を図ります。

- \*市街化調整区域については、地区の特性にふさわしい良好な都市環境の維持形成のため、\*地区計画活用の可能性を検討します。

(都市環境)

- 類いまれな景観を有する釧路湿原の保全に努めるとともに、自然とのふれあいの場としての活用を図ります。
- 公園や道路、川の両岸などは、市民や行政、事業者の協力による緑化活動を推進します。
- 児童の安全な遊び場や地域住民の憩いと安らぎの場を確保し、住環境の向上を図るため、鶴野東2号公園及び昭和20号公園並びに昭和東公園の整備を進めます。
- 整備の完了した公園については、ニーズの変化に対応した有効活用を実現するため、官民連携を含む適切な維持管理を進めます。



## 港湾や空港を活用した物流、交流機能の強化と産業集積地の形成

(土地利用)

- 釧白工業団地地区、大楽毛地区、星が浦南地区及び西港地区の工業地域については、生産性を向上させる良好な環境の維持により広域的な産業拠点の形成を図ります。
- 西港地区及びその周辺、星が浦南地区、鳥取南地区の工業地域については、港湾や主要幹線道路、鉄道などとの連携により流通機能の充実強化を図ります。



【釧白工業団地】

- 鳥取大通地区や鳥取南地区をはじめとした工場関連跡地の土地利用については、都市計画の提案制度など、都市計画制度の柔軟な運用を検討します。
- 本地域北西部の農業地域については、農用地の生産性の向上を図るため、農業生産基盤の整備を計画的に進めます。また、自然環境や国土の保全などの多面的な機能の維持、増進を図るため、優良な農用地の保全を進めます。
- 本地域北西部の森林地域については、木材生産などの経済的機能のほか、水源かん養、山地災害防止、地球温暖化防止及び市民の保健の向上などの公益的機能を高度に発揮するため、森林の整備、保全を進めます。

(交通体系)

- 広域ネットワークの形成を進めるため、北海道横断自動車道 阿寒 I C～釧路西 I C間及び釧路空港 I C (仮称)の整備並びに主要幹線道路である釧路新道の4車線化を促進します。
- 釧路港西港区内外と円滑な連携を図り、効率的な物流ネットワークの形成を進めるため、\*外貿コンテナをはじめとする\*貨物のユニット化や船舶の大型化に対応した係留施設、さらには、港湾活動の安全確保のための外郭施設など、臨港道路を含めた港湾施設の整備や維持管理を進めます。



- 本地域の昭和地区から山花地区を經由し阿寒本町地域を結ぶ道道釧路阿寒自転車道線について、舗装補修など適切な維持管理を促進します。



【道道釧路阿寒自転車道線】

## 都市軸

## 機能連携軸及び南北連絡軸の充実による都市軸の強化

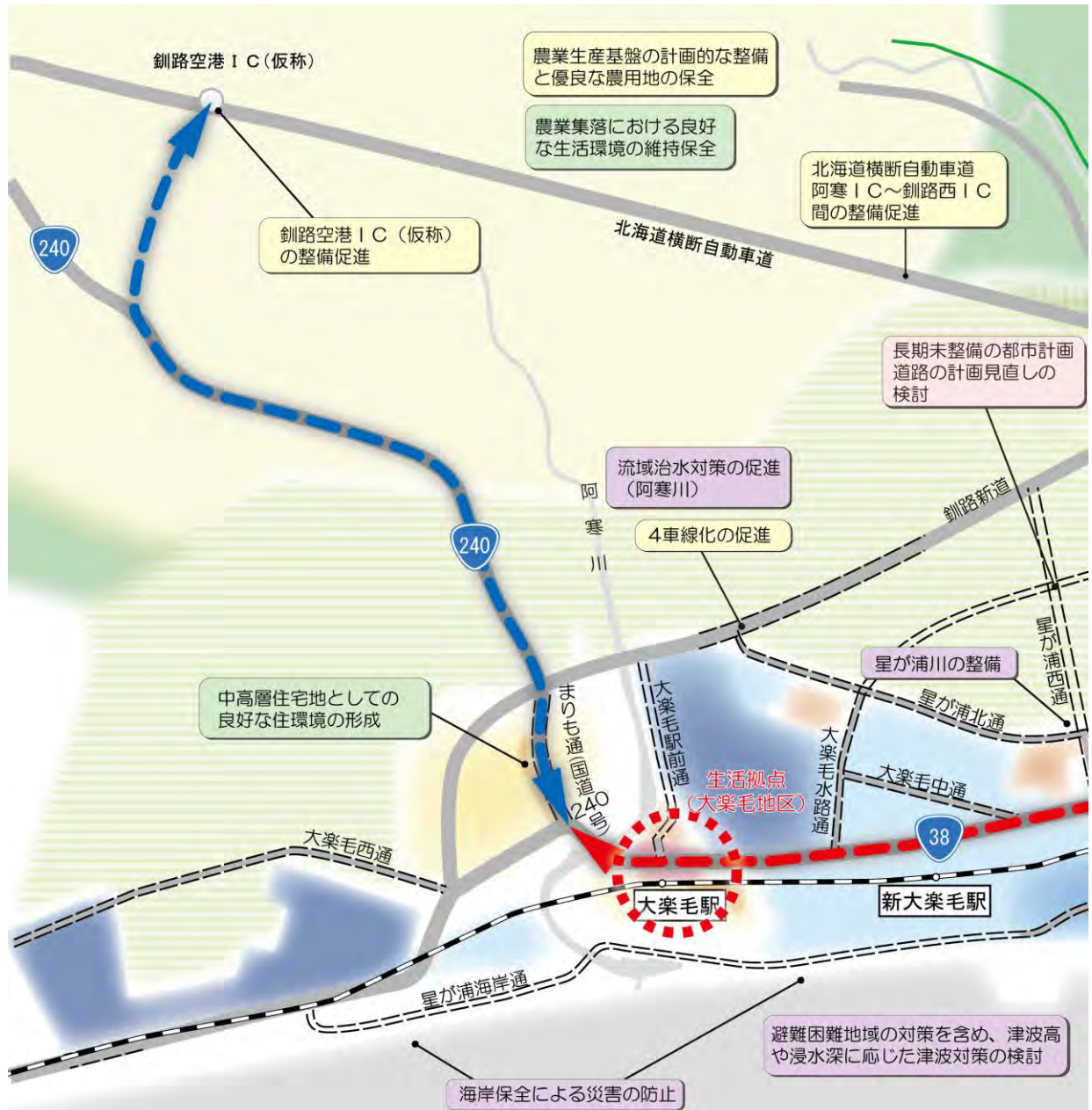
(交通体系)

- 長期未整備の\*都市計画道路のうち、南北連絡軸に位置付けている愛国北園通については、昭和地区と文苑地区をつなぐ橋梁の新設を促進します。
- 長期未整備の\*都市計画道路のうち、都市軸を形成する路線や、都市軸と一体となって機能を発揮する路線などについては、必要性や実現性を踏まえ整備の検討を進めます。
- 長期未整備の\*都市計画道路のうち、昭園通の全区間については、周辺環境や将来交通量の変化、地域住民の意見などを踏まえつつ、計画の見直しを検討するとともに、\*都市計画道路によらない整備手法の検討など柔軟な対応を進めます。
- 長期未整備の\*都市計画道路のうち、北園通の全区間並びに星が浦海岸通、星が浦西通、雄鉄線通、鳥取公園通、鳥取西通及び釧路環状通の一部区間については、計画の見直しを含めた検討を進めます。
- バスについては、持続可能な公共交通網の形成のため、大楽毛地区や星が浦大通地区をはじめとした住宅地と拠点を結ぶ路線の維持や結節機能の充実に努めます。

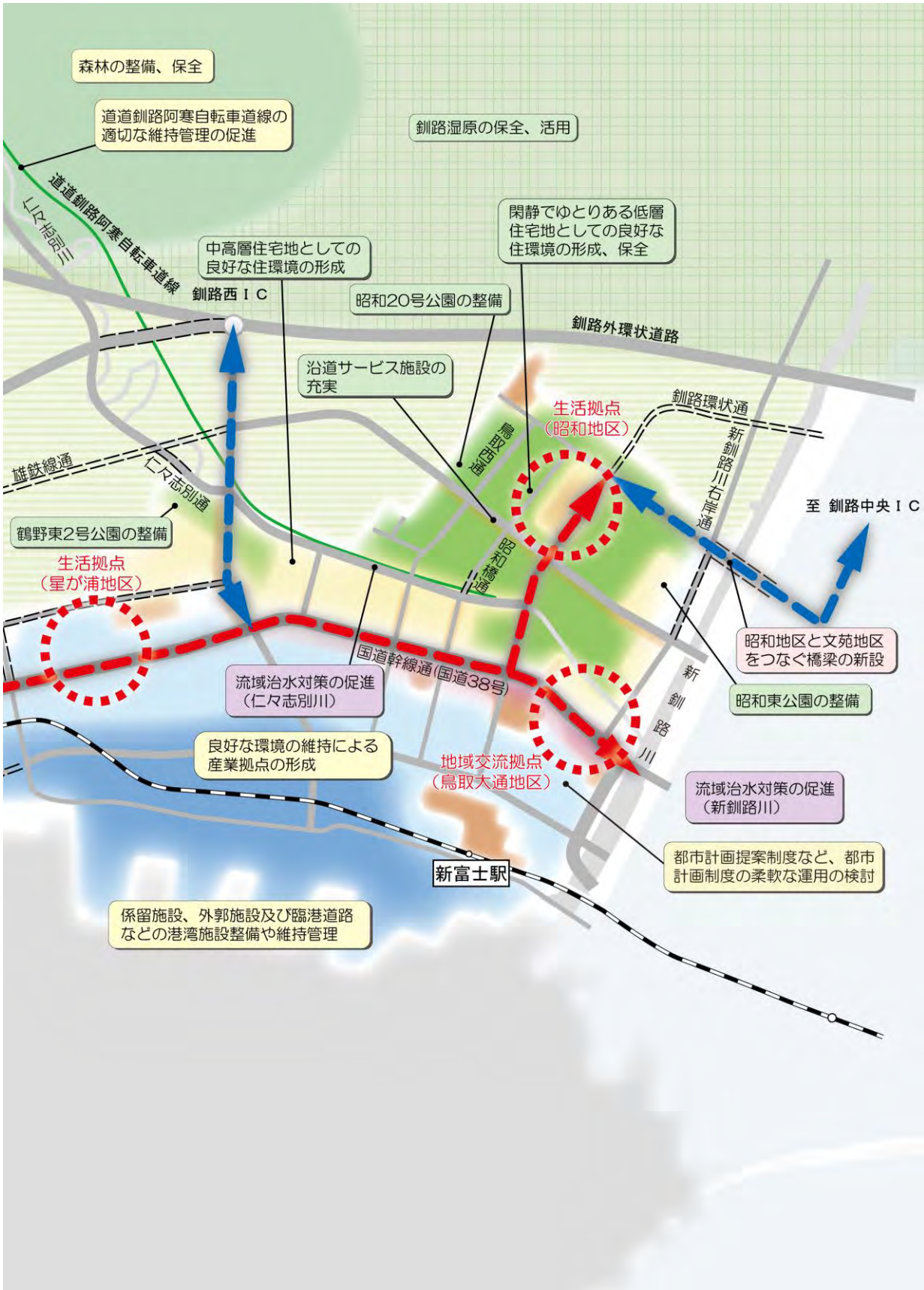


【循環バス「ぐるっと」】

**【整備方針図】** 整備方針図とは、全体構想で示した土地利用構想図などに、地域別構想で示した都市軸の考え方と主な地域整備方針を表した図です。



凡例			
都市的土地利用を図るエリア			
	自然環境の維持保全に努めるエリア		高度利用住宅地区
	優良な農地の維持保全に努めるエリア		一般住宅地区
	豊かな森林の維持保全に努めるエリア		専用住宅地区
	まちの拡大を抑制し、自然環境に配慮した形で土地利用を図るエリア		一般工業地区
			専用工業地区
			流通業務地区
			都市機能の拠点
			機能連携軸
			地域商業業務地区
			南北連絡軸
			沿道商業業務地区
			長期未整備の都市計画道路(区間)



## 釧路西部地域をこうしたい！

○地域を活性化させるためにどんなことをしたらいいか、83ページの「5 地域主体のまちづくり～まちのツボ～」を参考に市民の皆さんも考えてみましょう。

《特徴》ここはどんな地域(地区)か？

《課題》この地域(地区)にはどんな問題がある？

《目的、目標》この地域(地区)をどうしたい？

《何をする》目標を達成するためにどんなことをする？

短期的な取組み

長期的な取組み

《フリースペース》



# 第3章

## 地域別構想

### 第2節 釧路中部地域

## 第2節 釧路中部地域

### 地域づくり方針体系図

#### 地域の将来像

四季を感じる美しい風景を臨みながら  
便利で安心に暮らせる釧路市の顔であり続ける地域

#### 地域の特徴

都心部には行政、業務施設が  
集積している

都心部の空き店舗増加など  
求心力が低下

釧路駅の北口と南口、バスターミナルがそれぞれ離れており、利便性が低い

釧路駅やバスターミナル、耐震旅客船ターミナルがあり、来訪者が多い

本市が誇る世界三大夕日を幣舞橋から望むことができる

柳橋通沿道など多くの店舗や医療福祉施設、公共施設などの生活利便施設が立地している

都心部は市内他地域からの移動が最も集中している

都心部や住宅地から都心部に続く橋はラッシュ時に通過交通による混雑がみられる

文苑地区などの新興住宅地では、年少人口の割合が比較的高い

美原地区などの計画的に造成された住宅地が多く、緑あふれる美しい街並みを形成

北海道が示した津波浸水想定が市街化区域全域や市街化調整区域の一部に広がる

都心部では老朽化した空きビルがみられる

#### 主な住民意見

都心部は土日が休みの店が多い／釧路駅に商店や行政施設を集積してほしい／北大通に空きテナントが多い／MOO、EGGを利活用してほしい／駅、バスターミナル、タクシープールなどが一体となるような整備をしてほしい／若者向けの貸しテナントがほしい／市営住宅などの集合住宅を集積してほしい

北大通の散策は見所が多いのもっとPRを／釧路を代表する食が楽しめる／外国語の表記やフリーWi-Fiのスポットを増やした方がよい／夏が涼しい釧路のアピール／駐車場や駐輪場を充実してほしい／釧路の特長や海産物を生かした市場や飲食店がある観光施設がほしい

スーパーや病院が近く便利に暮らせる／どこの地域に行くにもアクセスしやすい／土地が平坦で暮らしやすい

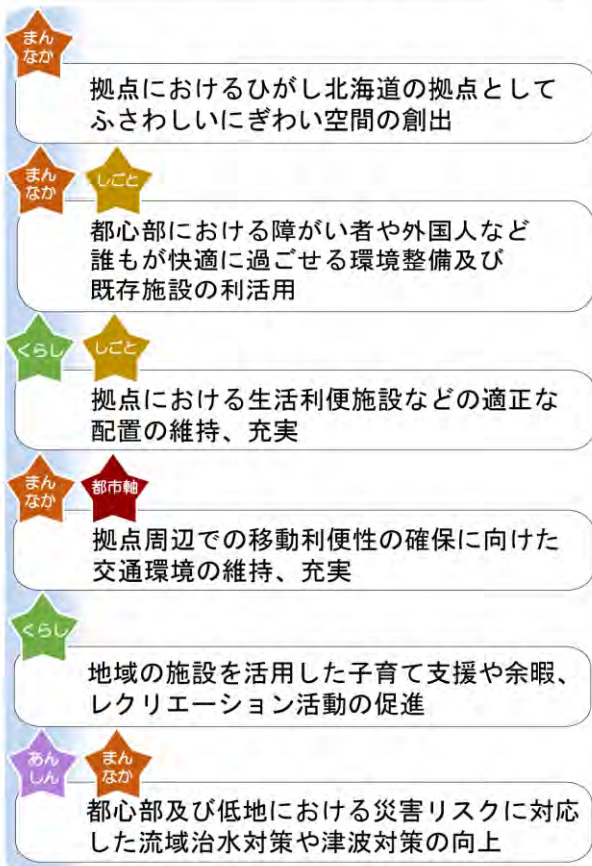
バスの路線をわかりやすくしてほしい／バスダイヤを充実してほしい／渋滞の対策をしてほしい／文苑から昭和方面へ橋を架けてほしい／車で移動する際に駅の南北を跨線橋まで回り道せずに通ることができるようにしてほしい

遊具の充実など子どもが楽しめる公園に／小学校の校区が広すぎるのでスクールバスを導入／文苑は子供が多いので街灯を増やしてほしい／柳町公園の緑化を進め、環境を良くしてほしい

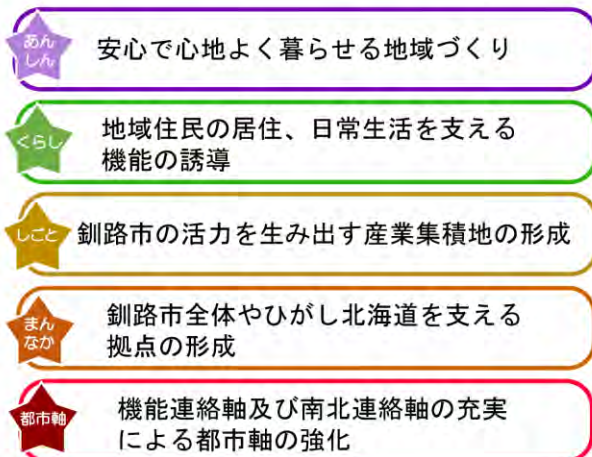
津波が来た時に高台がなく不安／街中に高層の市営住宅を建てて上層階を津波避難施設にして欲しい／空きビルが地震時に倒壊しないか不安／駅に防災機能を持たせてほしい

釧路中部地域の地域づくり方針体系図は、地域の将来像を達成するため、「地域の特徴」や「主な住民意見」を踏まえてまとめた「地域の主な課題」のほか、全体構想で掲げた「まちづくりの基本目標」から導き出された「地域整備目標」について、それぞれ解決や達成するために示す「主な地域整備方針」を表したものです。

### 地域の主な課題



### 地域整備目標



### 主な地域整備方針

- 本地域と東西を結ぶ橋梁における長寿命化修繕の促進
  - 都心部をはじめとした老朽化が進む大規模空き建築物などを解消する取組みの推進
  - 耐震旅客船ターミナルの機能維持
  - 新釧路川左岸通の整備(緊急避難用道路)
  - 都心部の国道における無電柱化の促進
  - 適正な指定緊急避難場所の配置を含め、津波高や浸水深に応じた津波対策の検討
- 市営住宅の整備など、まちなか居住の推進
  - 鉄北地区における中高層住宅地としての良好な住環境の形成
  - 雄鉄線通、柳橋通、愛国北園通、共栄橋通などの幹線道路における住環境の保全と利便性が高まる施設の充実
  - 愛国地区、芦野地区、文苑地区、美原地区における閑静でゆとりある低層住宅地としての良好な住環境の形成と保全
  - 文苑5号公園の整備
- 都心部などにおける空き店舗の有効活用
  - 釧路港東港区の副港地区における魚揚場の再整備
  - 釧路港東港区の中央埠頭の再編検討
  - 釧路港東港区における臨港道路などの港湾施設の適切な維持管理
- 広域中核拠点の都心部における商業、業務機能、行政機能、観光交流機能の誘導
  - 鉄道高架下に複数の道路を整備するなど、防災や減災に資する道路網の再編
  - 市街地再開発事業などの支援
  - シビックコア地区における緑あふれる憩いの空間づくりの推進
  - 都心部におけるまちなか観光周遊促進など、都市型観光の活性化
- 都市軸を形成する路線等の沿道における生活利便施設等の充実(共栄新橋大通など)
  - 文苑地区と昭和地区をつなぐ橋梁の新設
  - 長期未整備の都市計画道路における計画の見直し等の検討

## 1 地域のあらまし

釧路中部地域は、北部を釧路湿原、南部を太平洋に挟まれ、東の釧路川から西の新釧路川に至る面積2,481haの地域であり、そのうち\*市街化区域は1,343haとなっています。2020年(令和2年)の地域の人口は59,667人で、本市の総人口の36.14%に相当します。

北大通を中心とした都心部では中心商業業務地区が配置され、その周辺に高度利用住宅地区が配置されているほか、美原地区及び文苑地区では専用住宅地区が配置されており、比較的人口密度が高い地域となっています。

\*市街化区域は釧路川と新釧路川に挟まれた地域のうち、海岸線から6km程度までに位置し、釧路駅及び北大通を中心とした都心部では、ひがし北海道の拠点都市にふさわしい、活気あるまちとなるよう商業、業務などの\*高次都市機能の集積及び高密度での土地利用を図るほか、幹線道路沿道をはじめ、地域内の多くに店舗及び医療施設などが立地する利便性の高い地域となっています。一方で都心部では空き店舗が増加しており、求心力の低下がみられます。本地域は集合住宅の割合が比較的高い地域となっており、都心部の周辺では古くから住宅地が形成されているほか、柳町公園より北側の地域では文苑地区など比較的新しい住宅地が形成されています。

\*市街化調整区域は本地域の北部に位置し、釧路湿原を擁しており、湿原の保護、保全を図る観点から、\*市街化区域の北限は\*水際線より6km程度とした考え方を引き続き守り、豊かな自然環境に配慮した土地利用を行います。

本地域については、釧路駅があり、交通の拠点となるほか、道路網については、釧路駅から幣舞橋までを臨む北大通のほか、釧路環状通(国道44号)や\*市街化区域の外縁部を釧路外環状道路が東西に貫いています。

本地域には\*釧路市立地適正化計画の広域中核拠点である都心部があるほか、共栄新橋大通と柳橋通の交点を中心に地域交流拠点である新橋大通地区があります。



【釧路市子ども遊学館】



【文苑地区】



## 2 地域の主な課題

これまでの釧路市都市計画マスタープランや\*釧路市立地適正化計画などから抽出した「地域の特徴」、市民を対象とした各種アンケート調査の結果や地域懇談会、意見募集などを踏まえてまとめた「地域の主な課題」は次のとおりです。

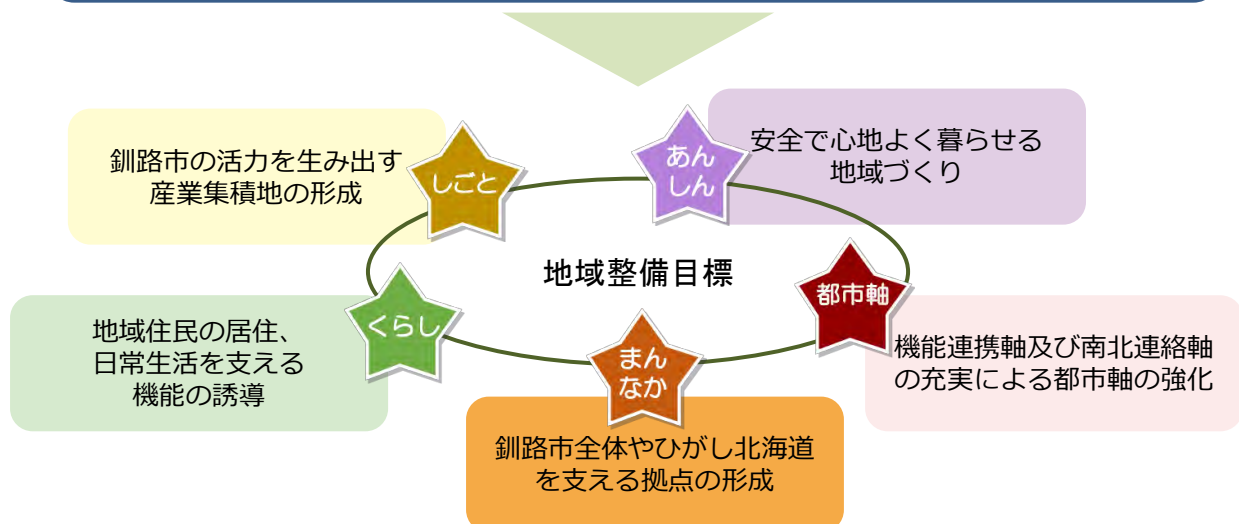
- 都心部においては、ひがし北海道の拠点としてふさわしいにぎわい空間の創出が必要です。
- 都心部においては、障がい者や外国人など誰もが快適に過ごせる環境整備及び既存施設の利活用が求められています。
- 拠点における\*生活利便施設などの適正な配置の維持、充実が必要です。
- 拠点周辺では移動利便性の確保に向けた交通環境の維持、充実が必要です。
- 地域の施設を活用した子育て支援や余暇、レクリエーション活動の促進が求められています。
- 都心部及び低地における災害リスクに対応した流域治水対策や津波対策の向上が必要です。

## 3 地域の将来像と地域整備目標

基本的な考え方となる「地域の将来像」を次のとおり定めるとともに、地域の主な課題を踏まえ、全体構想で掲げた「まちづくりの基本目標」を達成するための「地域整備目標」を定めます。

### 地域の将来像

四季を感じる美しい風景を臨みながら  
便利で安心して暮らせる釧路市の顔であり続ける地域



## 4 地域整備方針

前項で示した地域整備目標ごとの「地域整備方針」を示します。



### 安全で心地よく暮らせる地域づくり

(交通体系)

- 新釧路川及び釧路川に架かる橋梁において、安全性を高める長寿命化修繕などを進めます。

(都市環境)

- 愛国浄水場については、水道水の安定した供給の維持及び安全性を高める機能の増進を図るため、施設更新を進めます。
- 都心部をはじめ、本地域における老朽化が進む大規模空き建築物などを解消するため、改善措置の指導などの取組みを進めます。

(都市防災)

- \*耐震旅客船ターミナルは、災害時に緊急物資を輸送する防災拠点になるため、機能維持に努めます。
- 新釧路川左岸通においては、\*釧路市地域防災計画での避難路の指定に基づいた道路整備を進めます。
- 都心部の国道においては、防災機能の向上、安全性や快適性の確保、良好な景観形成の観点から無電柱化を促進します。
- 北海道が示した津波浸水想定が\*市街化区域全域や\*市街化調整区域の一部に広がる地域であることから、適正な指定緊急避難場所の配置を含め、津波高や浸水深に応じた津波対策の検討を進めます。



【無電柱化が進む都心部の国道】



## 地域住民の居住、日常生活を支える機能の誘導

(土地利用)

- 地域交流拠点の新橋大通地区には、近隣住民の生活利便機能や経済活動や交通及び医療などを支える機能を誘導することとします。
- 都心部及び新橋大通地区の拠点とその周辺では、市営住宅の整備などにより、\*まちなか居住の推進を図ります。
- 鉄北地区などについては、中高層住宅地として良好な住環境の形成を図ります。
- 雄鉄線通、柳橋通、愛国北園通及び共栄橋通などの幹線道路については、周辺住宅地の住環境の保全に配慮しつつ、近隣住民の利便性が高まる施設の充実を図ります。



【新川北団地】

- 愛国地区、芦野地区、文苑地区及び美原地区については、閑静でゆとりある低層住宅地として良好な住環境の形成とその保全を図ります。
- \*市街化調整区域については、地区の特性にふさわしい良好な都市環境の維持形成のため、\*地区計画活用の可能性を検討します。

(都市環境)

- 釧路大規模運動公園及び柳町公園などは、市民や行政、事業者が協力し、地域交流やにぎわいの場としての活用を図ります。
- 公園や道路、川の両岸などは、市民や行政、事業者の協力による緑化活動を推進します。
- 児童の安全な遊び場や地域住民の憩いと安らぎの場を確保し、住環境の向上を図るため、文苑5号公園の整備を進めます。



【釧路大規模運動公園】

- 整備の完了した公園については、ニーズの変化に対応した有効活用を実現するため、官民連携を含む適切な維持管理を進めます。



### 釧路市の活力を生み出す産業集積地の形成

(土地利用)

- 都心部などにおけるにぎわい創出を図るため、空き店舗の有効活用に努めます。
- 釧路港東港区及びその周辺の工業地域については、港湾や主要幹線道路、鉄道などとの連携により流通機能の充実強化を図ります。
- 釧路港東港区の副港地区においては、安全で高品質な水産物の生産や流通を確保するため、魚揚場の再整備を進めます。

(交通体系)

- 釧路港東港区の北地区においては、大型化する旅客船の受入れに向けて、中央埠頭の再編を検討します。
- 釧路港東港区内外と円滑な連携を図るため、臨港道路を含めた港湾施設の適切な維持管理を行い、港湾機能の確保に努めます。



### 釧路市全体やひがし北海道を支える拠点の形成

※都心部まちづくりの整備方針については、P72 に掲載。

(土地利用)

- 広域中核拠点の都心部には、ひがし北海道の中核都市としてふさわしい広域的都市機能の充実のため、商業、業務機能、行政機能及び観光交流機能の誘導を図ります。
- 都心部については、徒歩避難の円滑化や交通混乱の低減を図るため、鉄道高架下に複数の道路を整備するなど、防災や減災に資する道路網の再編を進めます。
- 都心部については、土地の有効活用のため、民間が行う市街地再開発事業などの支援を図ります。

(都市環境)

- \*シビックコア地区については、緑あふれる憩いの空間づくりを進めます。
- 都心部においては、旅行需要の積極的な取込みのほか、\*まちなか観光周遊促進など、都市型観光の活性化を図ります。

都市軸

### 機能連携軸及び南北連絡軸の充実による都市軸の強化

(土地利用)

- 共栄新橋大通などの都市軸及び都市軸と一体となって機能を発揮する路線などの沿道に広がる小売店舗連たん地区については、近隣住民の\*生活利便施設などの充実を図ります。

(交通体系)

- 長期未整備の\*都市計画道路のうち、南北連絡軸に位置付けている愛国北園通については、文苑地区と昭和地区をつなぐ橋梁の新設を促進します。
- 長期未整備の\*都市計画道路のうち、都市軸を形成する路線や、都市軸と一体となって機能を発揮する路線などについては、必要性や実現性を踏まえ整備の検討を進めます。

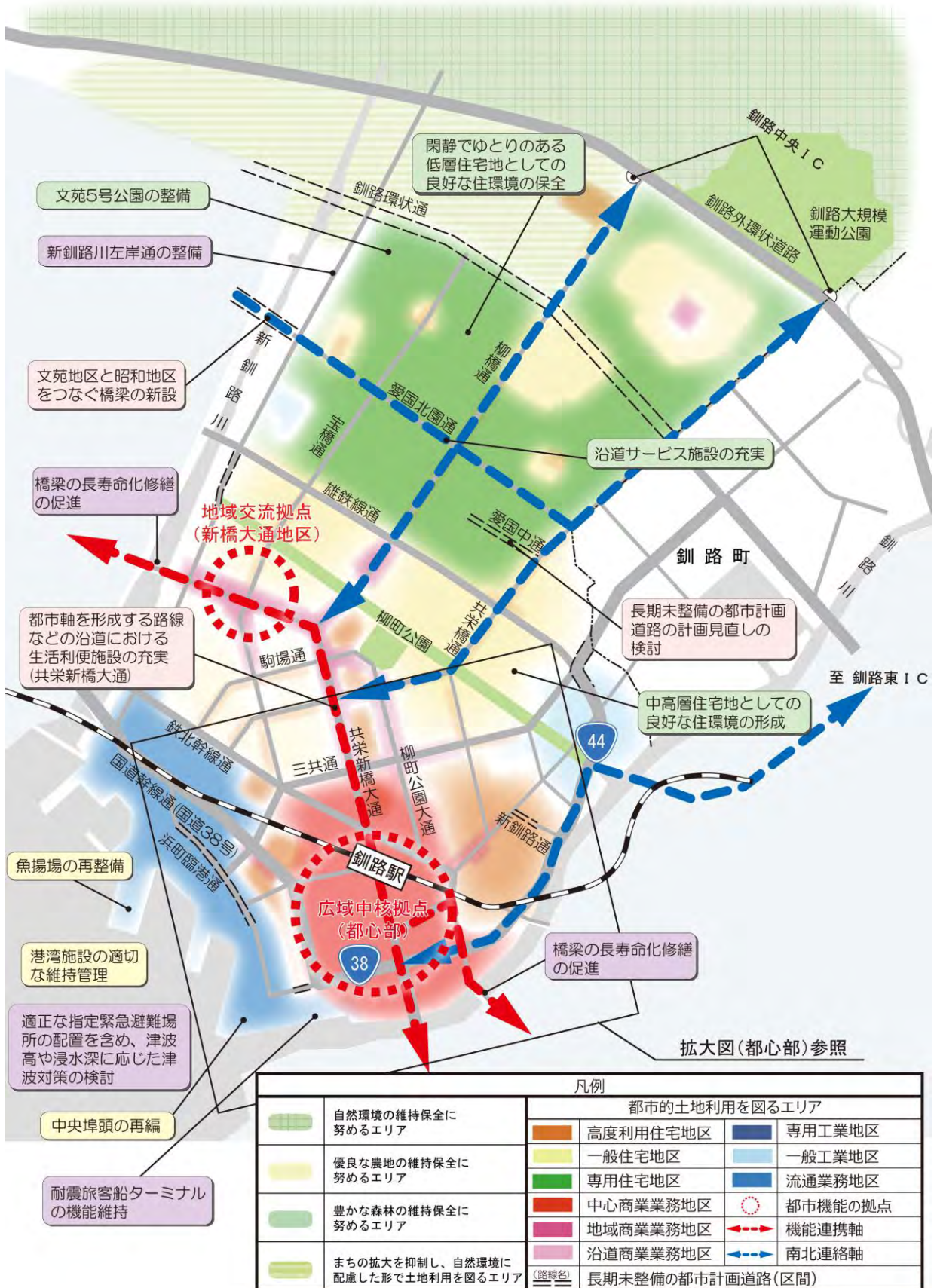


【橋梁の新設予定(愛国北園通)】

- 長期未整備の\*都市計画道路のうち、宝橋通、愛国中通、新釧路通及び市役所横通の一部区間については、計画の見直しを含めた検討を進めます。
- バスについては、持続可能な公共交通網の形成のため、文苑地区や美原地区をはじめとした住宅地と拠点を結ぶ路線の維持や結節機能の充実に努めます。



【整備方針図】

整備方針図とは、全体構想で示した土地利用構想図などに、地域別構想で示した都市軸の考え方と主な地域整備方針を表した図です。



【都心部】



凡例	
	まちなか居住を推進するエリア
	都心部

※ \*まちなか居住を推進するエリアとは、利便性が高い環境として、居住の推進、誘導を図る拠点とその周辺の範囲。

※ 図中での都心部とは、釧路駅を中心とした商業、業務機能、行政機能、観光交流機能、\*交通結節点機能など、様々な\*都市機能が集積し、行政の中核機能や、市内全体及び広域的な機能を果たす公共施設が立地している地区。

## 釧路中部地域をこうしたい！

○地域を活性化させるためにどんなことをしたらいいか、83ページの「5 地域主体のまちづくり～まちのツボ～」を参考に市民の皆さんも考えてみましょう。

《特徴》ここはどんな地域(地区)か？

《課題》この地域(地区)にはどんな問題がある？

《目的、目標》この地域(地区)をどうしたい？

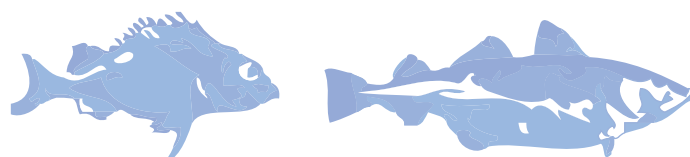
《何をする》目標を達成するためにどんなことをする？

短期的な取組み

長期的な取組み

《フリースペース》





# 第3章

## 地域別構想

### 第3節 釧路東部地域

## 第3節 釧路東部地域

### 地域づくり方針体系図

#### 地域の将来像

子どもから高齢者までが、  
安全で安心して快適に住み続けられる地域

#### 地域の特徴

炭鉱関連施設を中心に古くから市街地が形成している

富士見坂桜ヶ岡通沿道には、  
様々な都市機能が集積

地域の西部は、商業施設が少ない

高等学校や大学が立地し、市街地の他の地域からも通学の移動が集中

自然環境に恵まれた公園や遺跡等が多い

沿岸漁業の生産拠点漁港である千代ノ浦、桂恋漁港を有している

丘陵地には景勝ポイントがあるほか、春採公園や武佐の森緑地など市街地の自然が豊か

住宅地は、昭和40年代に開発された所が多い

釧路発祥の地として官公署や歴史、文化を感じさせる建造物が点在している

北海道が示した津波浸水想定が海岸線や釧路川付近などの低地部に広がる

急傾斜地崩壊危険区域、土砂災害警戒区域等に指定されている

大規模盛土造成地が存在する

他の地域に比べ、高齢化率が高い

起伏があり、坂道が多い

#### 主な住民意見

メディカルビルの誘致／屋内で遊べる場所が少ない／買い物難民／公共施設の集約化／高齢者が多いので温泉がほしい

子育て世代に優しい公園／スポーツができる公園／公園がキレイで満足／武佐の森の保全と利用／春採湖は釧路の宝

台風や雪の少なさ、高台を生かした企業誘致／第一次産業の推進／食料基地の機能強化

高台に海と湿原が見渡せる展望台／釧路川昼夜の美観／植物で美しく








空き家、空き店舗の老朽化／空き家や更地が多く子供が心配／閉校した学校の跡地利用

災害時の施設を増やしてほしい／東日本大震災で津波被害に遭い恐ろしかった／災害(特に地震、津波)に強いまちづくり／高齢で車も無いので避難に不安





免許返納後の移動手段が不安／バスの増便／利便性向上のためのマイクロバス／坂道が多く冬道が危ない

釧路東部地域の地域づくり方針体系図は、地域の将来像を達成するため、「地域の特徴」や「主な住民意見」を踏まえてまとめた「地域の主な課題」のほか、全体構想で掲げた「まちづくりの基本目標」から導き出された「地域整備目標」について、それぞれ解決や達成するために示す「主な地域整備方針」を表したものです。

### 地域の主な課題

-  高齢社会に対応した生活利便施設などの適正な配置の誘導
-  春採公園や武佐の森緑地など、自然環境の保全
-  千代ノ浦漁港や桂恋漁港の整備、漁業集落の生活環境の維持保全
-  高台などの地形的特徴を生かしたまちづくり
-  空家等対策の推進による居住環境の改善
-  土砂災害などの自然災害に対応した安全なまちづくり
-  拠点周辺での移動利便性の確保に向けた交通環境の維持、充実

### 地域整備目標

-  安心で心地よく暮らせる地域づくり
-  地域住民の居住、日常生活を支える機能の誘導
-  釧路市の活力を生み出す産業集積地の形成
-  機能連絡軸及び南北連絡軸の充実による都市軸の強化

### 主な地域整備方針

- 市立釧路総合病院の機能充実
- 地域の特徴である丘陵を生かした景観形成の推進
- 大規模盛土造成地の安全性把握のための取組み
- 丘陵斜面地や樹林地の保全
- 空家等の適切な管理に関する取組みの推進
- 災害時に備えた社会基盤整備やライフラインの機能確保
- 海岸浸食のおそれのある区域の災害防止
- 適正な指定緊急避難場所の配置を含め、津波高や浸水深に応じた津波対策の検討
- 工業地域が指定されている貝塚地区の住居系への用途転換の検討
- 漁業集落の良好な生活環境の維持保全
- 春採公園や武佐の森緑地の体験学習の拠点としての活用や自然環境の維持保全
- 釧路川リバーサイド緑地の維持保全
- 港町及び知人町地区の工業地域における広域的な産業拠点の形成
- 益浦軽工業団地地区や炭鉱関連の土地における都市計画提案制度など、都市計画制度の柔軟な運用の検討
- 千代ノ浦漁港及び桂恋漁港の整備
- 釧路港東港区における臨港道路などの港湾施設の適切な維持管理
- 都市軸を形成する路線などの整備検討（貝塚中央幹線通など）
- 長期未整備の都市計画道路における計画見直し等の検討
- デマンド型交通の導入などによる生活の足の確保

## 1 地域のあらし

釧路東部地域は、釧路川以東の丘陵地であり、北部及び東部は、釧路町の行政界に接し、南部は太平洋に面する面積3,198haの地域であり、そのうち\*市街化区域は1,733haとなっています。

2020年(令和2年)の地域の人口は52,696人で、本市の総人口の31.92%に相当します。

\*市街化区域は本地域の西部に位置し、釧路発祥の地として、官公署や釧路の歴史、文化を感じさせる神社や仏閣などの建造物、大学や博物館などの文教施設が点在しています。本地域を東西に走る富士見坂桜ヶ岡通(主要道道釧路環状線)の沿道には、炭鉱の発展と共に商店街が形成され、\*都市機能が集積しています。

地域全体に人口が分布しており、特に春採、武佐地区などの公営住宅周辺は人口密度が高くなっていますが、他の地域に比べ人口減少、高齢化率が高い地域となっています。



【釧路市立博物館】

\*市街化調整区域は本地域の東部に位置し、アップダウンが多い丘陵地となっており、夜景や海岸線を見渡せる景勝ポイントがあるほか、海岸沿いの低地部には沿岸漁業の生産拠点漁港の一つである桂恋漁港があります。

道路網については、\*市街化区域を久寿里橋通(市道久寿里橋通)、富士見坂桜ヶ岡通(主要道道釧路環状線)が東西に貫いており、南北を貫く桂恋武佐通(主要道道釧路環状線)によって、釧路外環状道路などを通じた釧路地域全体への\*バイパス機能を有しています。

また、本地域には\*釧路市立地適正化計画の地域交流拠点である桜ヶ岡地区があるほか、生活拠点として春採下町地区があります。

## 2 地域の主な課題

これまでの釧路市都市計画マスタープランや\*釧路市立地適正化計画などから抽出した「地域の特徴」、市民を対象とした各種アンケート調査の結果や地域懇談会、意見募集などを踏まえてまとめた「地域の主な課題」は次のとおりです。

- 高齢社会に対応した\*生活利便施設などの適正な配置の誘導が必要です。
- 憩いの場として親しまれている春採公園や手付かずの自然が残されている武佐の森緑地など、自然環境の保全が求められています。
- 地域の漁業生産拠点として重要な役割を果たしている千代ノ浦漁港や桂恋漁港の整備や、漁業集落の生活環境の維持保全が求められています。
- 高台などの地形的特徴を生かしたまちづくりが求められています。
- 古くから形成された市街地のため\*空家等が多く、防災や防犯、景観面における住環境の悪化などから、\*空家等対策の推進による居住環境の改善が求められています。
- 土砂災害などの自然災害に対応した安全なまちづくりが求められています。
- 拠点周辺での移動利便性の確保に向けた交通環境の維持、充実が必要です。

## 3 地域の将来像と地域整備目標

基本的な考え方となる「地域の将来像」を次のとおり定めるとともに、地域の主な課題を踏まえ、全体構想で掲げた「まちづくりの基本目標」を達成するための「地域整備目標」を定めます。

### 地域の将来像

子どもから高齢者までが、  
安全で安心して快適に住み続けられる地域



## 4 地域整備方針

前項で示した地域整備目標ごとの「地域整備方針」を示します。



### 安全で心地よく暮らせる地域づくり

(交通体系)

- 釧路川に架かる橋梁において、安全性を高める長寿命化修繕などを進めます。

(都市環境)

- 釧路・根室第三次\*医療圏の拠点としての役割や、災害拠点病院としての役割を担うため、市立釧路総合病院の機能充実を図ります。



【花時計】

- 地域の特徴である丘陵を生かした景観形成を進めます。

(都市防災)

- \*大規模盛土造成地の宅地被害を防止するため、大規模盛土造成地マップを活用し、宅地防災に対する理解を深めるほか、安全性把握のための取組みを進めます。
- 斜面の崩壊や土砂流出などを防止するため、丘陵斜面地や樹林地の保全を図ります。
- \*空家等の自発的な改善がなされるように、適切な管理に関する取組みを推進します。
- 災害時に備えた社会基盤整備や\*ライフラインの機能確保などの取組みを進めます。
- 海岸浸食のおそれのある区域は、海岸保全に努め災害の防止を図ります。
- 北海道が示した津波浸水想定が海岸線や釧路川付近などの低地部に広がる地域であることから、適正な指定緊急避難場所の配置を含め、津波高や浸水深に応じた津波対策の検討を進めます。



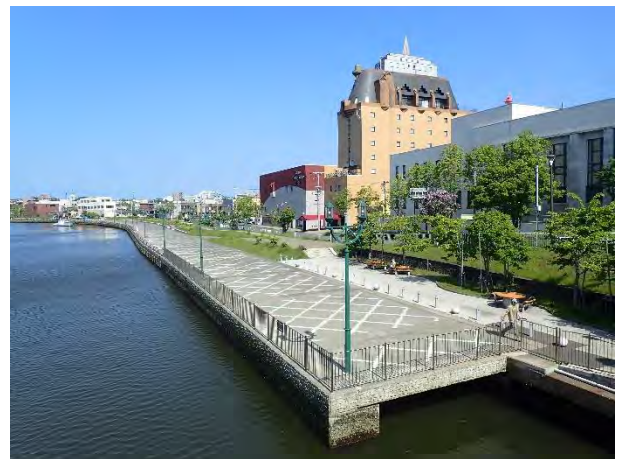
## 地域住民の居住、日常生活を支える機能の誘導

### (土地利用)

- 生活拠点の春採下町地区には、近隣住民の生活利便機能を誘導することとします。また、地域交流拠点の桜ヶ岡地区には、こうした機能に加え、経済活動、交通及び医療などを支える機能の誘導を図ります。
- 工業地域が指定されている貝塚地区において、住宅地としての土地利用が進行している地域については、住居系への用途転換を検討します。
- 本地域東部の漁業集落については、地域の実情にあった良好な生活環境の維持保全を図ります。
- \*市街化調整区域については、地区の特性にふさわしい良好な都市環境の維持形成のため、\*地区計画活用の可能性を検討します。

### (都市環境)

- 春採公園や武佐の森緑地については、身近な緑と接する体験学習の拠点として活用するとともに、自然環境の保全を推進します。
- 釧路川を眺めることのできる釧路川リバーサイド緑地については、地域の憩いの場としての維持保全に努めます。



【釧路川リバーサイド緑地】



## 釧路市の活力を生み出す産業集積地の形成

### (土地利用)

- 港町及び知人町地区の工業地域については、生産性を向上させる良好な環境の維持により広域的な産業拠点の形成を図ります。
- 港町及び知人町地区及びその周辺の工業地域については、港湾や主要幹線道路などとの連携により流通機能の充実強化を図ります。
- 益浦軽工業団地地区及び炭鉱関連の土地利用については、都市計画の提案制度など、都市計画制度の柔軟な運用を検討します。
- 地域の漁業生産拠点である千代ノ浦漁港及び桂恋漁港の整備を推進します。

### (交通体系)

- 釧路港東港区内外と円滑な連携を図るため、臨港道路を含めた港湾施設の適切な維持管理を行い、港湾機能の確保に努めます。



【桂恋漁港】



## 都市軸

## 機能連携軸及び南北連絡軸の充実による都市軸の強化

(交通体系)

- 長期未整備の都市計画道路のうち、都市軸を形成する路線や、都市軸と一体となって機能を発揮する路線などについては、必要性や実現性を踏まえ整備の検討を進めます。
- 長期未整備の\*都市計画道路のうち、浦見城山通及び千歳柏木通の全区間並びに入舟臨港通、弥生宮本通、弥生米町通、釧路大橋通、興津通、はまなす通、鶴ヶ岱公園通、緑ヶ岡若草通、橋南幹線通、緑ヶ岡中通及び桂恋武佐通の一部区間については、周辺環境や将来交通量の変化、地域住民の意見などを踏まえつつ、計画の見直しを検討するとともに、\*都市計画道路によらない整備手法の検討など柔軟な対応を進めます。
- 長期未整備の\*都市計画道路のうち、白樺台通及び白樺台南通の一部区間については、計画の見直しを含めた検討を進めます。
- バスについては、持続可能な公共交通網の形成のため、武佐地区や白樺台地区をはじめとした住宅地と拠点を結ぶ路線の維持や結節機能の充実に努めます。
- 桂恋、三津浦地区などについては、需要に応じた柔軟な移動手段である\*デマンド型交通の導入などにより生活の足の確保に努めます。

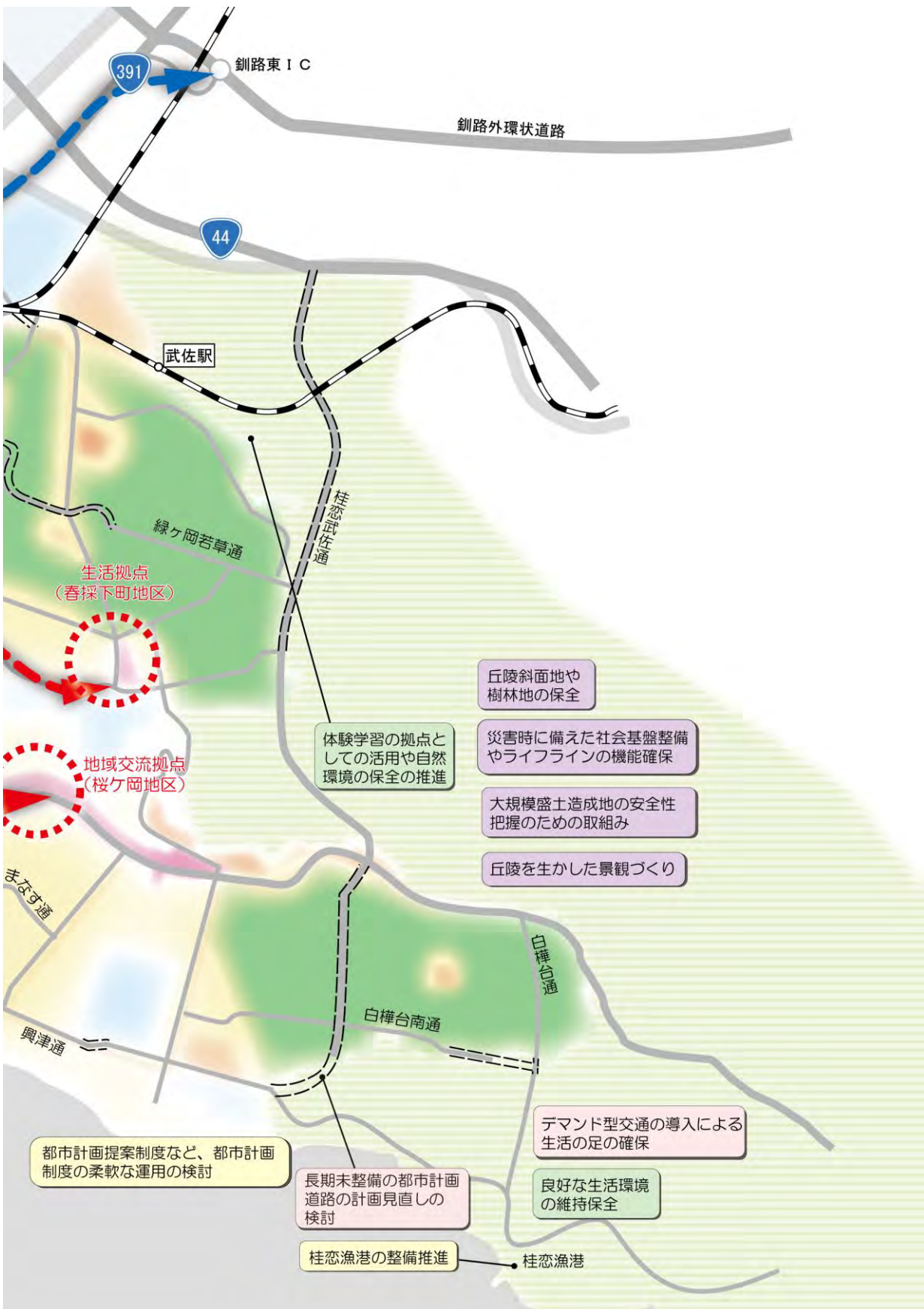


【富士見坂桜ヶ岡通】

【整備方針図】 整備方針図とは、全体構想で示した土地利用構想図などに、地域別構想で示した都市軸の考え方と主な地域整備方針を表した図です。



凡例			
都市的土地利用を図るエリア			
	自然環境の維持保全に努めるエリア		高度利用住宅地区
	優良な農地の維持保全に努めるエリア		一般住宅地区
	豊かな森林の維持保全に努めるエリア		専用工業地区
	まちなちの拡大を抑制し、自然環境に配慮した形で土地利用を図るエリア		専用住宅地区
			一般工業地区
			流通業務地区
			都市機能の拠点
			機能連携軸
			南北連絡軸
			(路線名) 長期未整備の都市計画道路(区間)



## 釧路東部地域をこうしたい！

○地域を活性化させるためにどんなことをしたらいいか、83ページの「5 地域主体のまちづくり～まちのツボ～」を参考に市民の皆さんも考えてみましょう。

《特徴》ここはどんな地域(地区)か？

《課題》この地域(地区)にはどんな問題がある？

《目的、目標》この地域(地区)をどうしたい？

《何をする》目標を達成するためにどんなことをする？

短期的な取組み

長期的な取組み

《フリースペース》